

実感

理解

実践

# とがちの食と地産地消

～とがちの食材の生産から消費までを考える～

講義

見学

体験



身近なとがちの食材をテーマに、生産から消費までの食のつながいをゲームを通して考える。



ねらい



食べ物を大切にすることを育てる

場所 教室・多目的室

季節 通年

人数 クラス単位

所要時間 45分

対象 小4～小6

申込期限 随時

連絡先

帯広市 都市環境部 環境室 環境課 環境保全係  
電話:0155-65-4135 FAX:0155-23-0159  
E-mail:environment@city.obihiro.hokkaido.jp

実感

理解

実践

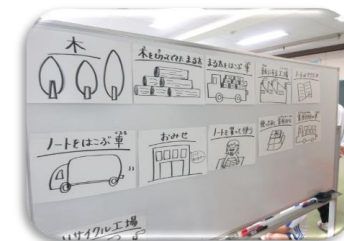
関連単元  
【例】

学年	科目・領域等	内容
小学校<中学年>	総合学習	○地球温暖化等に関する学習
小学校<高学年>	社会	○地球環境、資源・エネルギー問題
	家庭・技術家庭	○環境に配慮した生活の工夫

ながれ

導入

「つながり並び替えゲーム」のデモンストレーションとして、木から紙になり、使用されてリサイクルされるまでの流れを確認します。十勝で採れる代表的な作物をクイズにして興味をひきます。



展開

「つながり並び替えゲーム」は、小麦と枝豆の生産から消費までの各行程を記載したカードを背中に付け、自分のカードは見ず他の人のカードを見ながら「つながりの順序」を考えて並びます。また、海外輸入の場合は遠くから運ぶための燃料が必要で、CO<sub>2</sub>や地球環境についても学びます。



まとめ

最後に十勝の食材旬当てゲームと、地産地消の大切さや消費者として私たちに出来ることを考えます。

参加者  
コメント

- 農作物について興味がなかったけれど、授業を受けてから大切なのだった。
- 旬の時期があることを知れた、一番美味しく安全に食べられるから十勝は最高。
- たくさん人の手がかかって商品になっているので、食べ物を残さないようにしたい。

持ち物

なし

特記事項

- ホワイトボード
- 広いスペース

このプログラムを活用した方へのオススメ！プログラム

- 【実感・理解】1 農業体験学習（農政課）
- 【理解】25 動物園の食育授業（動物園）